

## SWOT分析～I 成長分野～

内部環境・外部環境から見る堺市の現状		内部環境	
		<b>強み (Strengths)</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 製造業をはじめとする全国屈指の産業集積</li> <li>② 広域アクセスに優れた企業立地ポテンシャル</li> <li>③ 臨海部における成長・先端産業分野の投資活発</li> <li>④ 昼夜間人口比率が100%を下回る（雇用者所得の流入）</li> <li>⑤ 大阪府内唯一の世界文化遺産・百舌鳥古墳群</li> <li>⑥ 古代・中世・近世・近代を通じた類稀な歴史資源の集積</li> <li>⑦ 南大阪最大級のホールを有するフェニーチェ堺</li> <li>⑧ 関西国際空港への良好なアクセス</li> <li>⑨ 大阪市に隣接（大消費地に近い）</li> </ol>	<b>弱み (Weaknesses)</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 労働力人口の減少（中小企業の人手不足、就職・子育て世代の流出）</li> <li>② 女性・高齢者の就業率が全国平均より低い</li> <li>③ 廃業率を下回る開業率</li> <li>④ 昼夜間人口率が100%を下回る（消費の流出）</li> <li>⑤ 大阪市に隣接（就業人口の流出）</li> <li>⑥ 宿泊施設が少ない（大阪市の1/20（施設数））</li> <li>⑦ 魅力度・認知度・観光意欲度の低さ</li> </ol>
課題（内部環境・外部環境を踏まえ、堺市が克服すべき・取り組むべき課題）			
外部環境	<b>機会 (Opportunities)</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 新公立大「工学部」(集約)・「情報学研究科」(新設)が中百舌鳥キャンパスに(2022年度)</li> <li>② 近畿大学医学部・近畿大学病院の立地(2024年度)</li> <li>③ 大阪・関西万博の開催(2025年)</li> <li>④ なにわ筋線の開業(新大阪・関空へのアクセス改善、2031年度)</li> <li>⑤ 来阪外国人旅行者の増加(インバウンドの増加)</li> <li>⑥ IoTやAI、ロボット、MaaSなど新たな技術の進展</li> <li>⑦ 働き方・暮らし方の多様化</li> <li>⑧ 健康志向の高まり</li> </ol>	<b>強み×機会 (積極攻勢)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成長・先端産業分野における研究開発や投資の促進</li> <li>・ 高度物流企業の投資促進</li> <li>・ 新技術の活用による中小企業の基盤強化</li> <li>・ 新公立大学や近畿大学など産学官連携によるイノベーション創出</li> <li>・ 大阪観光局との連携による来阪・訪日外国人の誘引</li> <li>・ 南大阪の市町との歴史文化における連携強化</li> <li>・ フェニーチェ堺をはじめ文化施設などを活用した交流人口の増加</li> </ul>	<b>弱み×機会 (弱点克服)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ IoTやAI等新技術を活用による生産性の向上</li> <li>・ ヘルスケア産業の育成</li> <li>・ 多様なライフスタイルを実現するまちづくりの推進(仕事と子育ての両立がしやすいまち)</li> <li>・ 職住近など共働き子育て世代が住みやすい、働きやすい環境づくり</li> <li>・ 大阪・関西万博を契機とした本市の情報発信・ブランド力向上</li> <li>・ 宿泊需要の喚起</li> </ul>
	<b>脅威 (Threats)</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 広域交通網の強化(東名間リニア開通による東京一極集中の加速)</li> <li>② なにわ筋線の開業(難波・新今宮・新大阪の集客向上)</li> <li>③ 生産年齢人口の減少(労働力不足、人材獲得の競争激化)</li> <li>④ 人口減少による国内需要の停滞</li> <li>⑤ 中小企業の経営者の高齢化による後継者不足</li> <li>⑥ 企業誘致をめぐる都市間競争の激化</li> <li>⑦ AIの進展による労働環境の変化</li> <li>⑧ 観光ニーズの多様化(体験・交流やSNS映えの重視)</li> </ol>	<b>強み×脅威 (差別化)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 起業しやすい環境や企業立地ポテンシャルの強化</li> <li>・ 優秀な人材を引き付ける研究機関との連携・研究人材へのサポート</li> <li>・ 近年の観光ニーズに応える観光資源の魅力向上</li> </ul>	<b>弱み×脅威 (防衛・撤退)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 女性・高齢者、外国人など多様な人材が働きやすい環境の整備</li> <li>・ 若年層の大阪市や東京圏への流出防止</li> <li>・ 歴史文化資源の保存継承</li> </ul>

SWOT 分析～Ⅱ住民サービス～

内部環境・外部環境から見る堺市の現状		内部環境	
		<b>強み (Strengths)</b> ① 府平均より高い合計特殊出生率 ② 待機児童数が減少傾向 ③ 共働き率の上昇 ④ 医療、福祉施設における人口カバー率の高さ ⑤ 近大医学部・近畿大学病院の立地 (2024 年度) ⑥ 防災関連施設の耐震化率 100% ⑦ 太陽光発電戸建て設置率が政令市 6 位	<b>弱み (Weaknesses)</b> ① 全国平均に比べて学力・体力が低い ② 学校の ICT 環境整備が遅れ ③ 子育て世代 (20～40 代) の転出超過 ④ 男女ともに全国平均より低い健康寿命、平均寿命 ⑤ 全国や大阪府より高い要介護 (要支援) 認定率 ⑥ 旧耐震基準 (S55 年) 以前の住宅が多い ⑦ 空き家の増加 ⑧ 泉北ニュータウンのインフラの老朽化 ⑨ 刑法犯罪認知件数が政令市の中で高い
	課題 (内部環境・外部環境を踏まえ、堺市が克服すべき・取り組むべき課題)		
外部環境	<b>機会 (Opportunities)</b> ① 大阪・関西万博の開催 (2025 年いのち輝く未来社会のデザイン) ② 近大医学部・近畿大学病院の立地 (2024 年度) ③ 教育の無償化拡大 (幼児、私立高校、高等教育) ④ ICT 環境の充実や 5G、AI の展開による教育環境の変化、医療分野への活用、インフラ施設の点検診断等への応用 ⑤ 健康ビッグデータの活用による個人にあった健康・医療・介護サービスの提供 ⑥ スマートシティの広がり	<b>強み×機会 (積極攻勢)</b> ・ 安心して子どもを産み育てる環境整備による子育て世代の確保 ・ ICT やビッグデータ活用による健康・福祉の充実 ・ 先端技術を活用したインフラ施設の継続的なメンテナンスによる強靱化	<b>弱み×機会 (弱点克服)</b> ・ ICT 環境整備による教育環境の充実 ・ ICT 活用 (データ分析、エビデンス等) の推進による学力・体力向上 ・ 誰もが健康で安心して暮らせる環境整備 ・ 健康づくりや生活習慣病の改善 ・ 介護予防・フレイル予防 ・ ICT やビッグデータ活用による健康管理 ・ AI や MaaS を活用した泉北ニュータウンのスマートシティ化
	<b>脅威 (Threats)</b> ① 20～39 歳の女性人口の減少による出生数の急速な減少 ② 保育需要の変化による保育所等の維持管理コストの負担 ③ 虐待やいじめ相談件数の増加 ④ 後期高齢者の増加 ⑤ 認知症患者の増加 ⑥ 人材確保競争の激化 (保育・教育人材、介護・医療人材の不足) ⑦ 直下型南海トラフ巨大地震のリスク ⑧ 気候変動に伴う豪雨・洪水リスク ⑨ 高度成長期に建設されたインフラ等の全国的な老朽化による膨大な更新需要の発生	<b>強み×脅威 (差別化)</b> ・ 保育需要に応える受け皿整備・人材確保 ・ 介護・医療の人材確保 ・ 地域医療・地域ケアの推進 ・ 防災拠点の機能強化 (ハードの耐震化だけでなく、洪水対応やソフトの機能強化) ・ 防災拠点以外の耐震補強等の推進 ・ 循環型エネルギー社会の構築に向けた取組	<b>弱み×脅威 (防衛・撤退)</b> ・ 児童虐待に対する体制強化 ・ いじめ防止に向けた取組強化 ・ 認知症対策の強化 ・ 防災面での老朽建物への対策強化 ・ 空き家等の対策強化 ・ 地域と連携した防災・防犯の強化